

NEST ロボコン 2025 レスキューライン競技会ルール

【更新履歴】:

- ・08/19(赤字):RWL/RCL ローカルルールを追加(競技時間の最大時間について)

NEST ロボコンで実施する次の 2 競技についてのルールを記載します。

▼対象競技▼

- ・RWL: World Class Rescue Line(ワールドクラス レスキューライン)
- ・RCL: Challenge Class Rescue Line Entry(チャレンジクラス レスキューラインエントリー)

▼適用ルール▼

- ・RWL: RoboCupJunior Rescue Line Rules 2024 (日本語翻訳版)
- ・RCL: Rescue Line Entry ルール 2025

▼競技ルールの優先順位▼

NEST ロボコンでは、競技ルールは下記に示す優先順位で実施します。それぞれの資料に同様の項目が記されていた場合、より優先度の高い資料の記述を参照します。

- 1) 本資料(次項「▼NEST ロボコンにおけるローカルルール▼」を参照)
- 2) 各レスキュー競技のルール(前述の「▼適用ルール▼」を参照)

▼NEST ロボコンにおけるローカルルール▼

【RWL】

- ・ 2.7 傾斜路は設定しない
- ・ 2.8 シーソーは設定しない
- ・ 2.10.2 被災者に使用するボールは、ピンポン球サイズで、重量は 30～50g を予定
- ・ 3.2.7 記載されているハンドルは、「ロボットに取り付けられるハンドルは、**ロボットの上部に設置されるものとし、審判などのチームメンバー以外の第三者も容易に認識でき、片手で水平に、安定して持ち上げることができるもの**」であること
- ・ 3.2.8 競技進行停止の時は事前に説明があれば、2 つ以上のスイッチでも再スタートが可能である
- ・ 3.4.6「Web フォーム」、3.4.7「技術説明書(TDP)」、3.4.8「ソースコード」、3.4.9「エンジニアリングジャーナル」の 4 つの提出は不要である
- ・ 4.3.2 **各チームの競技時間は最大 6 分です。**
- ・ **ロボットの高さは 25cm 以下を目指すこと**

(次ページに続く)

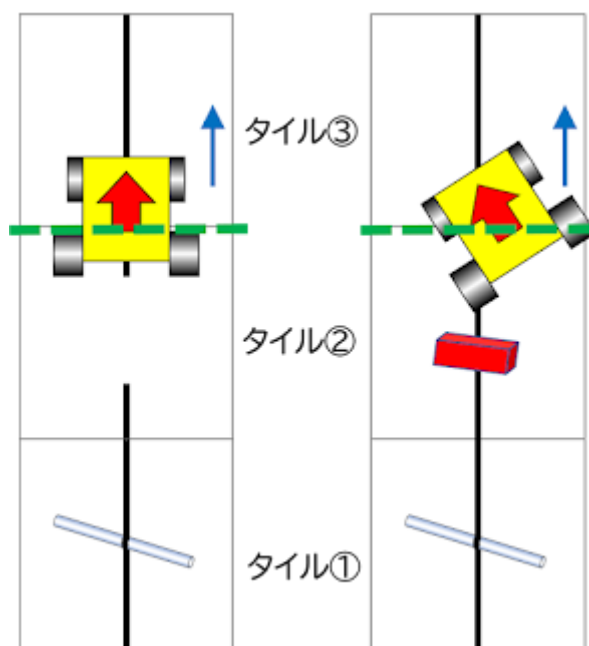
【RCL】

- 2.2.3 傾斜路は設定しない
- 4.3.1 各チームの競技時間は最大 6 分間である。
- 5.2.3～5.2.4 文章は 1 枚の A3 横「ポスター」とし、「エンジニアリングジャーナル」は含めない

【共通】

- RWL および RCL 共に、後述する方法にて順位を決定し、表彰する
- RWL および RCL 共に、チーム人数は 1 名以上で出場可能とする
- 大会当日に提出する「ポスター」は、審査員が評価をし「プレゼンテーションポスター賞」を選出する
- RWL および RCL 共に、参加チーム数などにより、競技時間を変更する場合がある
- 得点要素のあるタイルが2つ連続し、かつ、2つ目の得点要素が障害物またはギャップの場合、2つ目の得点要素の成功により、2つとも得点を認める

例:タイル①(バンプ)とタイル②(ギャップまたは障害物)が連続している



→タイル③に到達したとき、タイル①②の得点を認める

※会場その他の理由より、ルールの改定・追記が行われる場合があります。 修正・追加があった場合、HP や参加者ミーティングでお知らせします。

▼競技及び順位決定方法▼

競技方法

RWL、RCL の競技は各チーム計 2 回実施し、2 競技の合計得点で順位付けする。

(RWL: 5 章は適用しないため、ドキュメント評価得点、テクニカルチャレンジ得点の加算やルール記載の正規化は実施しない)

順位決定方法

順位は、以下の優先順位で決定します。

1. 合計得点が高い方を優先とする
2. 競技時間の合計が短い方を優先とする
3. 救出/発見した被災者の合計が多い方を優先とする
4. 競技進行の停止回数の合計が少ない方を優先とする

※各競技の参加チーム数などにより、「競技方法」や「順位決定方法」など変更になる場合がある。

▼当日提出資料▼

競技に参加するに当たり、下記資料を当日持参ください。

1. プレゼンテーション用ポスター (RWL、RCL 全チーム必須)

提出フォーマットなどは大会要項をご参照ください。

<https://www.npo-nest.org/workshop/robocon/robocon2025.html>

注記)各チームは会場に掲示するために印刷したものをご持参ください。

2. RCJJ2025 リチウムイオン二次電池チェックシート(対象チームのみ)

リチウムイオン二次電池を使用するすべてのチームは、RCJJ2025 名古屋 二次電池取扱注意事項を確認・理解の上、チェックシートを提出してください。

リンク: [二次電池取扱注意事項とチェックシート](#) (日本語版を使用ください)

注記) チェックシートの項目 11:過電流保護機能, 項目 12:過放電保護機能の説明欄は記入を任意とします(対策されていることが望ましい)。各自、注意事項をしっかりと遵守したうえで扱うようにしてください。

原本は当日必ず持参し、車検時に提出をお願いします。

以上